（別紙様式５）

学校番号	１２０４

平成３１年度　「総合的な学習の時間」 実施報告書

（学校名）府立　成　城　高等学校〔 全 ・定・多部制・通 〕制の課程　総合学　科（系）

名　称	『　総合的な学習の時間　』		
実施学年(年次)	１年次	単位数	２　単位
実施時間帯	水　及び　金　　５・６限		
目　標 ねらい	①　自己を理解し、自尊感情を高める。 ②　グループ学習などを通し、他者の意見に触れ、関わることで、コミュニケーション能力を育てる。 ③　自分の考えを相手に伝え、相手の考えを理解する能力を育てる。		

学習活動の内　容	テーマ	自己を理解する コミュニケーション能力を育てる
	具体的な学習活動（箇条書きでまとめること）	
	４月	◎オリエンテーション、 朝学で行う学習内容の説明を行った。 自分の意見を書くトレーニングの初歩として「自己紹介」を書いた。 ◎自分はどんな人、あなたはどんな人 エコグラムを使用し、自分のタイプを調べた。 タイプが同じ人同士でグループを作り、グループワークを行った。
	５月	◎バーベキューの具材を決めましょう 選ぶ具材がさまざまであることから、多くの考え方があることを理解し、人の意見や考え方も同様であることを認識する。
	６月	◎講演会「ＳＮＳに関する講演」 外部講師による講演。ルールを守り使用すること、決していじめは許されないことを、グループワークを通じ理解する。 ◎聞くと聴くの違い（模擬裁判） きく、のちがいから聞き方（聴き方）を意識することの大切さ、自ら話すときに意識することを意識する。グループ討議を実施。 ◎秘境で迷子 秘境で生き残るために必要な条件を一人ずつ役割を分担し、グループで話し合いをし、発表を行った。
	７月	◎生涯賃金について考えよう、この会社どんな会社？ 進路実現に向けた内容。求人票を見た生徒が大半。生徒によって希望する項目が異なることを理解する。 ◎てつがく（相手の話をじっくり聴こう） 外部から講師をお招きし、クラスで円になり、議題について一人ひとりが、意見を言える環境を作る授業を行った。 ◎講演会「デートDVについて」 外部から講師をお招きし、デートDVとはどのようなことを言うのかを聞き、自らが被害者・加害者にならないためにはどうしなければならないのかを考えた。
	(８月)	

	9月	◎「いじめ」をなくすために考えよう、 本校の基本理念である、「いじめを見逃さない」を再認識し、グループ討議を実施、発表することで啓発運動を兼ねる。
	10月	◎居心地のよいクラスについて考えよう 学校は学びの場、であることから考え、目配り・気配り・心配りができるためにできることを話し合い、発表する。 ◎筆記試験にチャレンジ！ 基礎学力向上のため、また、自分の得意・不得意を把握し、ともに教え会う機会を設ける。
	11月	◎大学ってどんなところ？ 進学希望ではない生徒でも、大学とはどんなところかを調べ学習により認識する。 ◎頭の体操、推論する力 読解力をつけるため、文章を読み、問いに答える。解答後、生徒間で教え合う姿が見られた。
	12月	◎いろんな国の文化を知ろう 海外にルーツのある人をお招きし、その国の文化や特色をグループで取材をし、まとめて発表をした。 ◎講演会「いのちを考える（性教育）」 外部講師の助産師体験を踏まえ、出産について講演いただき、いのちについて考える。グループ討議を実施し、質問に答えていただいた。
	1月	◎卒業生に聴いてみよう 今年、平成２９年３月に本校を卒業した生徒を迎え、就職・進学してから現在について語り、成城高校の生徒へのアドバイスを実施。 進路実現に向けたきっかけとなった生徒もいたようである。 ◎履歴書を作成してみよう、調査書～人事部は誰を選ぶ？ 履歴書を作成することで、長所や短所を見つめ直すきっかけとなり、学ぶ意欲が向上した生徒が見られた。 ◎コミュニケーション～アサーティブに伝えよう 「絵」を提示し、生徒個々の考えを膨らませ、グループのメンバーに、言葉だけで、正確に「絵」を伝える。アサーティブの意味である、相手を害する事なく、誠実に、率直に、対等に表現する。
	2月	◎ホームレスについて考える 自分がなるとは考えにくいホームレスをグループ討議し発表する。
	3月	◎市長になって住みよいまちをつくろう！ 現在住んでいる状況と、いつか住んでみたい街を想像し、住みよいまちをグループ討議により、意見を受け入れ、知識を広げる。

担当教員・外部講師、指導形態等	担当教員・外部講師など
使用した教材等	プリント教材

評　　価	各授業時における取組みの度合い（課題、プリント、出席状況　など）をもとに評価をおこなう。

※課程・学科（系）・学年（年次）ごとに作成すること。
※学習活動について、参考となる資料があれば添付すること。